



さくら市立氏家小学校 学校だより

6月号

氏小だより



大志ちゃん

令和7年6月16日発行

発行者 氏家小学校長

よく考える子 なかよくする子 体をきたえる子

すべての子どもが輝く学校

6月はいじめ防止月間 ～安心で楽しい学校生活のために～

今月は、「いじめ防止月間」です。だれの心の中にも偏見という「いじめの芽」があることをしっかり見つめさせ、いじめを「しない」「させない」取組を続けていきたいと思います。子どもたちが、多様性を尊重し、様々な人と共存しながらこれからの社会を生きていくために、自分の人権も他の人の人権も大切にできる大人に育ってほしいと願っています。今月は、「なかよしアンケート」や「教育相談」を実施し、児童の実態把握とその後の指導に努めます。また、学級ごとに、「ストップいじめ！0宣言」について話し合いました。子どもたちが自分の頭で考え、正しい判断ができるよう、支援や啓発をしていきたいと思っています。

★学級はいじめゼロ宣言★ 各学年1クラスずつご紹介します

- ★1年生「ともだちにやさしくします」
- ★2年生「ことばづかいに気をつけて みんながえがおですごします」
- ★3年生「親がくれた自分の名前や友だちの名前を大切にします」
- ★4年生「仲間はすれやかげ口をなくします」
- ★5年生「いじめられている人がいたらみんなで助けます」
- ★支援学級「勇気を出して、ごめんね、みんな平和に仲直り」
- ★6年生「いじめのないクラスで、一人一人の命を守りぬきます」

★家庭と学校の連携★

学校では、よりよく集団生活を送るために、友達や自分自身の多様な価値観やよさを認め合う「氏小かがやきっず」や「今日のきらり」などの取組を行っています。ご家族との関わりの中で、子どもたちには愛情や互いを思いやる心が養われ、友達との良好な関係を築く基になっています。ただし、小学生の経験値では、ものごとの考え方や見方は狭く、未熟な点もたくさんあります。お子さんとの会話を通して、子どもたちが相手の気持ちになって考えたり、多様なものの見方をしたりするアドバイスをお願いします。また、お子さんの心の成長や思いやりのある言動が見られたら、ぜひ褒めていただければと思います。なお、本校の「いじめ防止基本方針」をホームページで公開中です。

★遠足・海浜自然教室・修学旅行★

子どもたちが楽しみにしていた、遠足、修学旅行、海浜自然教室が無事終了しました。1年生：宇都宮動物園、2年生：りんどう湖、3年生：モビリティリゾートもてぎ、4年生：なす高原自然の家、5年生：とちぎ海浜自然の家、6年生：東京・鎌倉へそれぞれ出かけ、友達と楽しく充実した体験をして、たくさんの思い出を作ることができました。保護者の皆様、物心両面からの様々なご配慮やご協力、大変お世話になりました。



1年生
←

2年生
→



3年生
←



4年生
←



5年生
←

6年生
→



★人権の花贈呈式 6月3日★

5名の人権擁護委員さんがお見えになって、人権の花を各学年の代表児童に贈呈していただきました。花を育てる意義について「花は、水がほしくても口で言うことができません。みなさんが毎日花を見て、花のことを考えながら世話をしてくれることをとおして、他の人への思いが育ってくれるといいと思います。」とお話してくださいました。これからもきれいな花を咲かせ続けてくれるように、みんなで世話をしていきたいと思います。人権擁護委員のみなさん、ありがとうございました。



★自然に親しみ、守る活動 6月4日★

さくら市を流れる鬼怒川流域には、150年ほど前に外国人によって発見され、今は絶滅危惧種である「シルビアシジミ」とその食草である「ミヤコグサ」が生息し、他にはない生態系が守られています。本校の5年生は、うじえ自然に親しむ会の高橋さんからお話を伺い、ミヤコグサの成長を脅かす「シナダレスズメガヤ」を除草する活動を行いました。みんな一生懸命に除草を行いました。児童が、ふるさとの自然を守っていこうとする気持ちをもってくれることを期待しています。



★引き渡し訓練 6月4日★

毎年この時期に、緊急時や災害時に備えて、保護者への引き渡し訓練を行っています。児童数が多い本校では、引き渡し時刻を下学年と上学年に分けて実施しました。災害の多い日本では、防災教育として様々な事態を想定した訓練や心構えが必要だと思います。今回も保護者の方のご協力で、スムーズに全校児童を引き渡すことができました。学校と家庭が連携して児童の安全を守っていききたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



★ボランティアさんの準備でサツマイモ植え★

環境ボランティアのみなさんのご協力を得て、全校児童がサツマイモを植える活動を行っています。3年生は、大豆を育てる予定です。ボランティアの方々は畝を立て、マルチをかけて、畑の準備をしてくださいました。また、1、2年生が植え付けをする日は、朝早くからご指導に来てくださいました。おかげさまで、児童は土に触れ、楽しく活動できました。作物を育てるという貴重な体験ができ、大変ありがたく思います。収穫までの間、しっかり世話をしていきたいと思います。



修学旅行の楽しみといえば、お土産タイムもその一つです。小遣いの使い方も様々で楽しいです。帰校の迎えに来た保護者の方が笑いながらこんな話をしてくれました。「せうかく行くので、地元の有名人鳩サブリを買ってくる予定が、全く違うサブリを買ってしまいました。しかも、よくわからないぬいぐるみも買ってきました。(笑)と。その子がお土産に目移りする様子が浮かびました。子どもたちは、事前学習で名物を調べ、自由行動の最後のお土産タイムには、お目当ての品を目指して行きます。『どこで買っても値段は同じだよ。』の声には耳を貸さず、なぜか、老舗本店にこだわる子どもたち(笑)でも、そこまでして行つたのに、値段を見てそろばんをはじきます。(笑)また、観光地の『三ッ当地〇〇や』☆限定の文字が記された『よくわからぬいぐるみ』が、子どもたちを誘惑してきます。残金が気になる中、優先順位を検討した結果、鳩サブリよりお手頃なサブリでいいやとなったのでした。残ったお金は、しっかりと自分のお小遣いになるのかな。それも生きる知恵だね！お土産のセオリーを得るにも、大人になるまでに経験が必要なのですね。



校長室の窓から
鳩サブリ 変わり身の術で 似非サブリ
やりくり上手な ぼくの知恵だぜ

児童の日々の活動をぜひご覧ください。下のQRコードから氏小のホームページにアクセスできます。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。

